

広報文芸

俳句

目白来て蓄の枝は春を待つ
 ナース拭く窓にかがやく初御空
 初鴉さつと下りきて屋根叩く
 工房に漢一人や炉火瀑ぜる
 清流に白鳥の群飛来せり
 寒鯉を驚かしたる水の音

久那瀬 堀江 直子
 浄法寺 小室 キチ
 小砂 松岡 路石
 矢又 星 幸子
 松野 鶴川 良子
 松野 青木 敏之

短歌

きさらぎの寒さ去らねど谷川の薄氷の下に稚魚の影見ゆ
 春彼岸間近くなりて埃拭く母の遺影はもの言ふごとし
 液晶とデジタルのまだ分からぬに店に並べるプラズマテレビ
 吾が趣味はほどほどが良しと八十の齢いに知れり悟りの遅し
 待ちわびし恵みの雨に野も畑も幾分なりの緑もえ来て
 大根の美味しい節のめぐり来て太め太めと選びぬく

盛泉 岡 イチ工
 和見 小高 歌子
 健武 佐藤 茂
 小川 郡司 三四
 小川 森島テフ子
 片平 磯部 千代

川柳

バレンタイン義理の山積チョココレート
 親ばかり言うが心配やめられぬ
 咳払い一つ大きく壇の上
 咳払いやと気付いたしゃべり過ぎ
 何色に染めよう春の風の色
 差し出してくれた手左手も添える

小川 星 一枝
 小川 平澤 繁子
 大山田上郷 大森 愛子
 谷田 岡崎 甫子
 大内 郡司 正幸
 薬利 大崎 克明



新着図書

那珂川町 図書館



『子どもが伸びる関わりことば26』
 湯汲英史／著（すずき出版）
 「そっと」「大切」「ため」「できた」など、子どもに、人や物とどう向き合い、関わりをもっていけばよいのかを26の「関わりことば」を取り上げ、その意義や役割を解説する。

『お腹召しませ』
 浅田次郎／著（中央公論新社）
 入婿が藩の公金に手をつけたつえに、吉原の女郎を身請けして逐電した。お家を保つために御留守居役が出した名案は？武士の本義が薄れてきた幕末から維新にかけてを舞台に描く侍たちの物語。



『鬼の首引き』
 岩城範枝／文・井上洋介／絵（福音館書店）
 「手から食おうか、あしから食おうか、それとも、がかりとあたまから？」鬼の娘が初めて人を食える「お食い初め」のえじきとなった若者は…。狂言から生まれた物語。

- ◇『1回で受かる！普通免許問題集』 長信一／著（成美堂出版）
- ◇『日本野球25人私のベストゲーム』（文芸春秋）
- ◇『超ハカの壁』 養老孟司／著（新潮社）
- ◇『新参教師』 熊谷達也／著（徳間書店）
- ◇『砂漠の薔薇』 新堂冬樹／著（幻冬舎）
- ◇『夢が、かなう日』 モーグルスキーヤー 上村愛子物語― 山石やすこ／文（学習研究社）
- ◇『レオンと魔法の人形遣い』 上・下 アレン・カースワイル／著（東京創元社）
- ◇『おでんさむらい』 内田麟太郎／文（くもん出版）
- ◇『おじいちゃんのくらくらくくらくらく』 西本鶏介／作（鈴木出版）



今回の健康づくりのグループ紹介は「ひまわり会」です。「ひまわり会」は、小川健康管理センターで実施している機能訓練に参加している仲間をつくりました。

脳卒中などで身体が不自由になった方が対象で、作業療法士や保健師の指導で、軽体操やレクリエーション、ゲームなどで身体を動かす訓練をしています。

野外訓練は、お花見や紅葉狩りに出かけたり、まほろば農園で、サツマイモなどを栽培したりしています。そのときは、カトレア会の方たちがボランティアで介助してくるので、安心して出かけることができます。

参加している会員の声を紹介します。

●阿久津さん(69歳男性)

昭和五十八年に脳出血により左半身マヒになりました。後遺症で常に痛みがあります。出来る限り自分で運転し、外出するようにしています。皆さんに会うことを楽しみに、参加しています。

●屋代さん(73歳女性)

平成七年にくも膜下出血になり、その後腸閉塞で入院を繰り返し、食事も流動食です。野外訓練の時は、流動食を持参して参加しています。主人がやさしく、二人でドライブに出かけます。皆さんとおしゃべりすることがリハビリだと思い、楽しみに参加しています。

●松本さん(62歳男性)

昭和五十八年に脳出血で倒れ、現在は車イスの生活です。外出も、電動車イスです。皆さんと話をしたり、体を動かしたりすることが気持ちよくて、参加しています。

●小貫さん(83歳女性)

脳の手術をし、左半身マヒが残りました。毎日四千歩を目標に歩き、積極的に参加しています。ひまわり会でも毛糸飾りを皆さんに差し上げて、喜ばれています。

●小村さん(61歳男性)

平成三年、脳出血により左半身マヒになり、外出は電動車イスですが自己トレーニングはかかさず、最近はクロスワードパズルを楽しんでいます。平成八年から、ひまわり会に参加しています。



寄贈



ありがとうございます

教育文化基金へ

百万円 橋本洋様(大田原市)

福祉基金へ

五万円 星 敏明様(久那瀬)

五万円 川崎由明様(馬頭)

福祉振興基金へ

十万円 薄井光市様(健武)

七万六千五百五十円

那珂川町まほろばがたり様

五万八千六百十三円

那珂川町民ネットワーク様

三万円 自治労栃木県本部様

一万円

故谷田部稔様(大山田上郷)

薬利小学校へ

外用時計

昭和43年度薬利小卒業生有志

善意銀行へ

八千円 匿名(378回)

馬頭町社会福祉協議会へ

タオル四十本

北條 一夫様(盛泉)

図書館へ

図書「奥久慈歳時記」一冊

松岡 広光様(小砂)

平成18年産 米の農業者別作付目標面積の配分について

農業者別の作付目標面積については、地域の実情に即したものとなるよう適切に設定することが必要なため、地域性や収量等に配慮し、配分基準単収は旧町を単位として設定し配分しました。ご協力をお願いします。

問い合わせ 役場本庁 農林振興課 ☎0287-92-1113
小川庁舎 産業建設課 ☎0287-96-2116

馬頭分	①10a未満の農家	→全水田面積の配分
	②10a以上20a未満の農家	→全水田面積の85.0%
	③20a以上の農家	→全水田面積の63.0%

小川分	①10a未満の農家	→全水田面積の配分
	②飯米農家50a未満	→全水田面積の86.9%
	③販売農家30a未満	→全水田面積の81.8%
	④販売農家30a以上及び飯米農家50a以上	→全水田面積の60.4%